

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	小城市立牛津小学校
1 前年度評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭・地域とのつながりを大切にし、豊かな心を育む活動が進んだ。児童の自己肯定感や役割意識が向上したが、学びを日常生活に活かす取り組みがさらに必要である。</li> <li>・楽しくわかる授業づくりと校内研究が充実し、児童の学習意欲が高まり、授業の改善が進んだ。教科間での統一的なアプローチが求められる。</li> <li>・地域との連携と貢献活動が進み、児童は学校行事を楽しんでいる。地域との協力体制をさらに強化する必要がある。</li> <li>・特別支援教育とユニバーサルデザインを意識した指導が充実し、全児童に対応した環境が整った。支援が必要な児童への更なるサポートが求められる。</li> <li>・安心・安全な教育環境が確保され、いじめの認知件数が少なく、児童は学校生活を楽しくしている。いじめ防止対策のさらなる強化が必要である。</li> </ul>
2 学校教育目標	自ら学自ら学び 心豊かに 笑顔輝く 津保美っ子の育成 ~つなぐ~
3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 家庭・地域とのつながりを大切にしながら育む豊かな心(出番・役割・承認)の醸成</li> <li>② 児童がより楽しくわかる授業づくりと校内研究の充実</li> <li>③ 地域とともに歩み、地域へ貢献できる学校の推進</li> <li>④ 特別支援教育・UD(ユニバーサルデザイン)を基盤とした教育の充実</li> <li>⑤ 安心・安全な教育環境の充実</li> </ol>

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内研を充実させ、教職員の指導力(ICT活用も含め)を磨き、高める。</li> <li>○学力向上に向けた取り組み</li> <li>○チーム担任制・教科担任制等の各教師の専門性を活かした指導を行う。</li> <li>○読書の推奨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習状況調査等で、すべての領域において「おおむね達成」する。</li> <li>○「学校でICTを活用している」と回答した児童80%以上</li> <li>○家庭学習頑張リ週間で、目標時間を達成した児童が70%以上</li> <li>○図書の出冊数目標を達成した児童が80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研究で、教師同士の授業参観推進月間を年3回設ける。日々の情報交換等のチーム力によって、個々の指導力を高める。</li> <li>・落ち着いた授業環境、学習規律の場作りを推進する。(学習道具をシンプルにすることを推奨・朝読書・学習流れの統一・話し合い活動の推奨・「つなぐカード」の活用)</li> <li>・より学びを深める効果的なICT活用を推進する。</li> <li>・家庭学習がんばり習慣・自学の取り組みの推奨(優れた自学の掲示・表彰)</li> <li>・各ブロックに応じた目標(低120冊中100冊 高80冊)を目指し、読書好きの子どもを育てる。</li> </ul>							
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動</li> <li>●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「自分にはよいところがある」と回答した児童80%以上</li> <li>○学校生活を肯定的にとらえている児童80%以上</li> <li>○いじめを初期段階のものも含めて積極的に認知し、その解消に向けた取り組みを早期にスタートする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体で、計画的・継続的児童の心に届く人権教育(人権教室6回、人権集会1回)や道徳に取り組む。</li> <li>・「いじめ・心を考える日(毎月10日)」と連携させた「月の心」アンケートを実施し、いじめの早期発見につなげる。</li> <li>・事態の内容や問題を的確に把握すると共に、職員同士の情報連絡会を密にし、その後の方向性を明確にし、スピード感のある指導・対応を行う。児童や保護者への周知・理解をきめ細かに行う。(ガラス張りの生徒指導、早期発見・組織的対応、チーム担任制・チームでの動きを導入。)</li> </ul>							
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成</li> <li>●安全に関する資質・能力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「健康に良い食事をしている」と回答した児童80%以上</li> <li>●児童の交通事故を0(ゼロ)にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「給食週間」「ふるさと食の日」の実施を通して、児童や保護者へ食の大切さを周知する。</li> <li>・交通安全教室や避難訓練等を計画的に実施するとともに、家庭へも指導内容を発信し、児童の交通安全や防災安全への意識を高める。</li> </ul>							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。</li> <li>●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慣習にとらわれず、業務のやり方などを工夫し、超過勤務時間を、昨年度より削減する。毎週金曜日は定時退勤日とする。</li> <li>・職員会議を2ヶ月に1回実施するなど、会議の効率化を図り、年次休暇を取りやすくする。</li> </ul>							
●働きやすく、活気に満ちた職場作りを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○働きやすく、活気に満ちた職場作りを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「働きやすい職場環境である」と回答した職員が80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム担任制(4年生)の導入およびそれ以外の学年にもチームでの動きを導入し、働きやすい環境をつくる。</li> <li>・コミュニケーションや同僚性を大切に、働きやすい、活気のあるチーム牛津小(職場)にする。</li> </ul>							
●特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した職員が80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての職員が、特別支援教育、UD教育に関する理解や知識を深めると共に、具体的かつ実践的指導や支援の方法などを習得できるように、特別支援教育の研修の充実を努める。</li> </ul>							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○志を高める教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○◎ふるさとを愛する教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○牛津町が好きと回答した児童が90%以上</li> <li>○体験活動・見る・ふれあうなどの学習がすすくと回答した児童が90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材を活用した学習活動を充実させる。</li> <li>・地域に学ぶ学習の充実</li> <li>・児童によるボランティア活動、社会支援活動等、社会へ貢献できる取組を企画する。</li> </ul>							

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--